

大学生を対象とした出身高校の男女比率の違いとジェンダー・スキーマとの関連の検討 —性差観スケール, 集団同一視尺度, 共同性・作動性尺度を用いて—

関口美優香 (龍谷大学)

キーワード：ジェンダー・ステレオタイプ, 男女共学, 男女別学

問 題

本研究では、伊藤 (1997) の研究に基づいて、男女共学出身者の方が、男女別学出身者よりジェンダー・ステレオタイプが強いのではないかという仮説と女性に比べ、男性の方が自分の所属している男性という集団、つまり、内集団に対して、内集団ひいきしやすい傾向にあることから、ジェンダー・ステレオタイプが強くなるのではないかという二つ仮説を検討した。

方 法

調査協力者 調査協力者は、R 大学文学部哲学科教育学専攻の137名であった。うち有効回答は130名で、男性67名・平均19.2歳 (年齢幅18~24歳)、女性63名・平均19.1歳 (年齢幅18~23歳) であった。なお、男性の場合、計67名のうち11名が同性のみ群、17名が同性多め群、10名が同数群、29名が異性多め群、女性の場合、計63名のうち6名が同性のみ群、32名が同性多め群、14名が同数群、11名が異性多め群となった。

調査の使用尺度 使用尺度を表1に示した。

表1 質問紙の構成

1. フェイスシート
2. 出身高校に関する事柄について [I]
3. 性差観スケール (伊藤, 1997) [II]
4. 集団同一視尺度 (Karasawa, 1991) [III]
5. 共同性・作動性尺度 (土肥・廣川, 2004) [IV]

出身高校に関する事柄についての項目は、出身高校の男女比率の違いについて把握するための項目であり、詳しい項目内容は表2に示した。

表2 出身高校に関する事柄についての項目

No.	項 目
1.	あなたが最も記憶に残っている高校の時の学級 (クラス) の学年はどれですか
2.	あなたが質問1で選択した最も記憶に残っている学級 (クラス) は、文系、理系、文理合同、それともその他ですか
3.	あなたが所属していた高校は、共学、男子校、女子校のどれですか
4.	あなたが質問1で選択した最も記憶に残っている学級 (クラス) は、男子と女子どちらの人数が多かったですか。または、同じ人数でしたか
5.	あなたが質問1で選択した最も記憶に残っている学級 (クラス) は、約4分の1以上、女子がいる学級 (クラス) であった

結 果

出身高校, 性差観, IDgroup, IDmember, 肯定的共同性, 否定的共同性, 肯定的作動性, 否定的作動性の8種類の得点を算出した。性差観得点を目

的変数とし、その他の要因を説明変数とした重回帰分析を行った結果、表3のモデルが最も当てはまりが良かった。

表3 重回帰分析の結果

変数名	偏回帰係数	標準誤差	t値	p値	標準化偏回帰係数
(切片)	67.238	1.050	64.053	0.000	—
性別	-2.652	2.220	-1.195	0.234	-0.107
出身高校	-1.030	1.035	-0.995	0.322	-0.087
IDgroup	2.978	1.372	2.170	0.032	0.221
IDmember	0.294	1.428	0.206	0.837	0.021
出身高校×IDmember	2.057	1.122	1.834	0.069	0.163
性別×IDmember	-4.147	2.478	-1.674	0.097	-0.146

注1) 2値変数をカテゴリカル変数として扱っている

注2) 交互作用項が含まれているので、説明変数はすべて中心化している

出身高校×IDmember および性別×IDmember の交互作用 (図1, 2) を検討したところ、学級に同性が多い場合、IDmember 得点が高いほど性差観得点が高い ($t(123)=1.834, p=0.069$)。反対に、学級に異性が多い場合は、IDmember 得点が高いほど性差観得点も高い ($t(123)=1.834, p=0.069$)。また、男性の場合、IDmember 得点が高いほど性差観得点も高い ($t(123)=-1.674, p=0.097$)。反対に、女性の場合は、IDmember 得点が高いほど性差観得点が高い ($t(123)=-1.674, p=0.097$)。

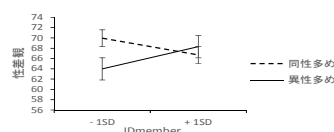


図1 出身高校とIDmemberの単純主効果の検定

注) エラーバー: 標準誤差

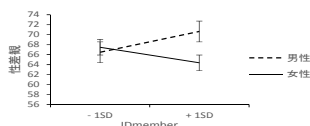


図2 性別とIDmemberの単純主効果の検定

注) エラーバー: 標準誤差

考 察

問題で示した二つの仮説は、ともに支持された。よって、本研究では、男女別学か男女共学かという学校環境の違いから、集団への意識の相違が生まれ、ジェンダー・ステレオタイプにも影響を及ぼすという知見を得ることができた。